

柏市地方創生推進交付金事業 評価シート				
番号	都市との共生による新たな「農村地域」創出事業			
担当部署	経済産業部 農政課	担当者	阿藤・大島・音喜多	連絡先 04-7167-1143
目的	都市近郊の立地性と豊かな自然環境が共存する地域特性を活かした、「農業と観光の融合による体験のまち」を実現させるために、「地域内ネットワークの形成」、「地域コンテンツの作成」、「情報発信」、「推進体制の構築」に関する各種取り組みを実施し、手賀沼周辺地域全体を活性化させることを目的とする。			
経費概要	・委託料19,929,250円(手賀沼アグリビジネスパーク事業戦略プラン推進委託) ・委託料19,723,000円(手賀沼周辺地域交流促進事業)	交付事業に要する経費	39,652,250	
		基準値	目標値	
(16)ページ	手賀沼・東部地域流動人口	51,500 (661,300)	56,000 (760,000)	
本事業における重要業績評価指標	指標	指標値	実績値	達成度(%)
	指標①	道の駅しようなんの経済効果	595,275千円	497,452千円 83.57%
	指標②	地域交流拠点の来場者数	1,180千人	979千人 82.97%
	指標③	農業後継者世帯数(沼南支所管内)	153世帯	173世帯 113.07%
	指標④	道の駅しようなん農産物直売所会員の平均売上げ高	5,100千円	3,861千円 75.71%
事業効果(自己評価)	<input type="radio"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="radio"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="radio"/> ③地方創生に効果があった <input type="radio"/> ④地方創生に効果がなかった			
事業概要(進捗)	<p>【時系列で記入】</p> <p>H31.4～: 広報・PRの強化(各イベント等をファミリー層をターゲットとした情報サイトに掲載、連携、法人向け営業を実施)</p> <p>H31.4～: ネットワーク形成として柏駅から道の駅しようなんへシャトルバス運行(日祝運行 往路4便、復路5便/日)</p> <p>R 1.5～: 道の駅ブランドの構築(検討会・ワークショップ 5～2月まで計10回)、新商品開発</p> <p>R 1.5～: 農泊の推進(地域の農泊事業の実証実験として台湾修学旅行生受入れ 5/21・22、7/1・2)</p> <p>R 1.5～: 体験プログラムの企画・運営支援(手賀ログ5月、理科の修学旅行「梨のひみつ探検隊」5月・9月、手賀沼ひまわりクラブ5～3月計 6回、小学校向け稲刈り体験9月)</p> <p>R 1.6～: 拠点活性化に向けたイベントの開催(田んぼラグビー6月、納涼祭り8月、ヌマベを活用したアクティビティ・生きもの観察会11月等)</p> <p>R1.12～: 地域への情報発信として地域懇談会の実施(手賀地域7地区)、チラシ配布(手賀地域11地区)</p> <p>R1.1～: 体験プログラム運営人材育成プログラム(手賀沼マイスター養成講座 1/18、1/19、2/21、2/23)</p>			
成果	<p>前年に引き続き、道の駅しようなんと柏駅間の無料シャトルバス運行による新たなネットワーク形成の検証に加え、手賀沼周辺活性化の拠点である道の駅しようなんのブランディング構築のため、周辺事業者や農業者等を加えた会議やワークショップを実施し、前年度構築したしようなん地区の理念を踏まえ、道の駅しようなんの理念とロゴマークを作成した。そのほか周辺の農家や事業者と連携したイベントや体験プログラム、商品開発等を企画・実施し、集客・地域活性化を図った。</p> <p>また、各種コンテンツ企画・運営として、「手賀ログ 5月」、「理科の修学旅行(梨のひみつ探検隊5月、9月)」、「手賀沼ひまわりクラブ5～3月 計6回」等計8事業を実施した。そのほか、体験プログラムの担い手「テガヌマイスター」育成プログラムを実施し、15名を育成した。</p> <p>さらに、民泊・農泊による宿泊体験の推進を図るため、前年度、千葉県を訪日教育旅行事業と連携、受け入れ可能家庭の調整を行った結果、台湾の修学旅行生の受入れを行った。5/21～5/22に高校生32名を10のホストファミリーで受入れ、7/1～7/2に中学生17名を6のホストファミリーで受け入れた。マレーシアからの要望もあったが、ホストファミリーの都合により受入れが叶わなかったため、継続的な実施にはより地域全体の農泊への理解・協力と思われる。</p> <p>これまでのイベントやコンテンツ参加者の傾向から、若いファミリー層の興味・関心が高いことがわかってきた。より多くの方への周知のため、子育て情報サイトやママ目線での情報発信に取り組み、ターゲットとなる層にダイレクトに発信できる手段を実施した。また、周辺地区の理解、協力促進のため、地域懇談会や情報誌の配布等を実施した。</p>			
その他特記事項	<p>手賀沼アグリビジネスパーク事業における、中核施設としての道の駅しようなんの拡張計画が、地方創生の核となる特に優れた企画として認められ、道の駅しようなんは、平成30年度に千葉県内4番目となる国土交通省の重点「道の駅」に選定された。</p> <p>本事業の核拠点となる道の駅しようなん再整備工事について、昨年度より着手しているものの、オリンピック需要等に起因する資材不足に伴い竣工に遅れ(当初予定R2.3→R3.11)が生じたことから、KPI指標の達成度が低くなっている。これに伴い、R3年度も引き続き、事業継続が必要となっている。</p> <p>一方で、もう一つの拠点である水辺の拠点については、来場者数が着実に伸びている。(H30:22,060人⇒R1:27,183人)</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響により、マイクロツーリズムなど、新たに身近な需要が生じてきていることから、これらの需要を上手に取り込みながら、本地域の地方創生に繋げていきたい。</p>			
柏市地方創生総合戦略評価委員会による評価				
KPIについて		意見		
①総合戦略のKPI達成に有効であった				
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない				